



DAIHATSU



2016年8月2日

ダイハツ、インドネシアで新型多目的乗用車「シグラ (SIGRA)」を発売 ～軽自動車の技術、ノウハウを展開、LCGC 政策適合第2弾～



シグラ (SIGRA)

ダイハツ工業 (株) (以下 ダイハツ) のインドネシアの子会社であるアストラ・ダイハツ・モーター (以下 ADM) は、インドネシア専用の多目的乗用車 (以下 MPV) 「シグラ (SIGRA)」を8月2日にインドネシアで発売する。

「シグラ」は、ダイハツが日本で培った軽自動車の技術やノウハウを展開し、多人数乗車や多くの荷物を積む点など、現地で求められるニーズを反映した、本格7人乗り Aセグメント MPV であり、トヨタ自動車㈱へ OEM 供給も実施する。

「シグラ」のプラットフォームは、アイラと共通のグローバル Aセグメントプラットフォームを活用し改良、エンジンはダイハツがアセアン向け次世代エンジンと位置づける新型 NR エンジン (1.2L) と、燃費性能・出力などを改良した KR エンジン (1.0L) を搭載している。高い燃費性能とお求めやすい価格を実現し、ダイハツとしては2車種目となる、同国のエコカー政策「LCGC 政策」適合車種である。

また、パッケージは、室内空間を最大限に有効活用する技術とノウハウを生かした、本格的 MPV となっており、小型車ながら大人7人が快適に座れる居住空間と、日常生活で求められる荷物収納スペース、さらに高い小回り性を実現している。

ダイハツは今後も軽を基点とした小型車開発を日本と海外で推進するとともに、インドネシアをはじめとしたアセアンにおける自動車の普及と、自動車産業の育成に貢献する。

※【車名の由来】サンスクリット語で「反応がすばやい」といった意味